



ひとりひとりに寄り添う医療を

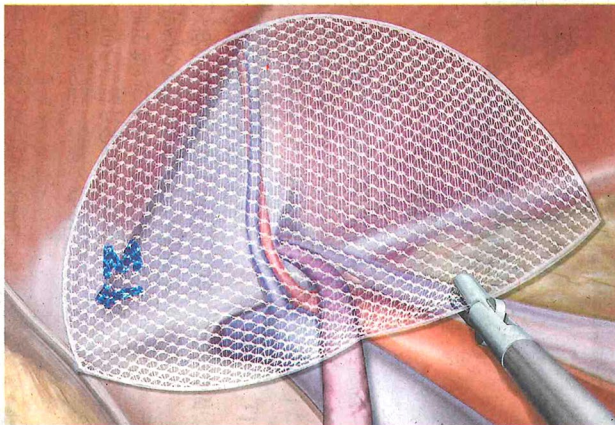
鼠径ヘルニアはいわゆる「脱腸」とも呼ばれ、脚の付け根(鼠径部)の辺りが膨らむ良性の疾患です。男性に多いですが、女性にもしばしばみられます。成人では高齢者に多く起こり、仕事で重い物を持つ▽排便・排尿時にトイシで力む習慣がある▽せきをよくなる▽内臓脂肪が多い▽



なかぎ・まさふみ 秋田大医学部卒。メデイカルトピア草加病院(埼玉県)、亀田総合病院(千葉県)などを経て2025年から倉敷成人病センターに勤務。日本外科学会専門医、日本消化器外科学会の専門医、消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会の技術認定医、評議員、ロボット支援手術プロクター(胃)。

④ 体に優しい鼠径ヘルニアの治療

倉敷成人病センター外科部長 中木 正文



たばこを吸う一人がなりやすいといわれています。加齢により筋力が弱くなった腹圧が強くなったりすることで、腸が腹壁の弱い部分から飛び出て、脚の付け根が膨らんだり、痛みが出たりする病気です。鼠径ヘルニアを放置すると、

「陥疝」といって飛び出した腸が戻らなくなり、強い痛みを生じることがあります。陥疝になると緊急手術が必要ですが、それ以外は患者さんの予定と相談のうえ、待機的な手術が可能です。■傷が小さい腹腔鏡手術 成人の鼠径ヘルニアは自然に

治ることはなく、手術以外に治療はありません。ヘルニアが突出する部分は腹壁が弱くなっているため、この部分にメッシュという柔らかいネットを当てて修復します。イメージ図。手術には何種類か方法がありますが、当院の最大の特長はおなか

に小さな穴を開け、内視鏡を用いて行う腹腔鏡手術です。写真。腹腔鏡手術は傷が小さく痛みが少ないため、術後早期に社会復帰できます。特に当院では患者さんの希望に応じて、直径2cmの細い器具を使用した最新の手術を取り入れていきますので、さらに傷が小さく痛みの少ない、より優れた手術を選ぶこともできます。それぞれの患者さ

んにとって最適な手術方法を相談のうえ、選択させていただきます。また、内視鏡外科手術の専門医資格を持った認定医が行うため、より安全で体に負担の少ない手術が可能となります。■外来・入院・手術の流れ 当院では鼠径ヘルニアの専門外来を設けています。ヘルニア外来で診察と検査を行い、手術の必要性がある場合は、相談したうえで手術日を決定します。手術となった場合は前日に入院し、早ければ手術の翌日退院できます。このように入院期間は2泊3日ですが、希望によって調整可能です。ご相談ください。また、退院してすぐに普段通りの生活が可能となります。鼠径ヘルニアの診断がついても、手術を受けるかどうかをその場で決める必要はありません。ちょっと話を聞いてみたいという気持ちで、気楽に受診いただいて結構です。私が担当するヘルニア外来は火・木曜(祝日除く)の午前中です。他の曜日の外科外来でも診察させていただきます。ご予約のうえ来院ください。

倉敷成人病センター(0866-4222-2111)